

金沢港：御供田1号岸壁の活用に向けた技術検討について

○ 令和6年1月4日および17日、TEC-FORCEによる現地調査を実施。1月中旬より、国総研・港空研は北陸地整等に対して、現地調査の結果や設計図書等を基に、被災状況に応じた解析方法および応急復旧方法に関する技術支援を実施。

1月4日（高度技術指導班：国総研1名、港空研1名、本省港湾局2名、北陸地整2名）

1月17日（高度技術指導班：国総研1名、港空研2名、北陸地整1名）



参考

- 国による技術検討・係船ブロックの設置、県によるふ頭用地舗装復旧、民間セメント会社による配管復旧工事の実施
- 6月5日、セメント運搬船「平尾山丸」が地震後初の入港